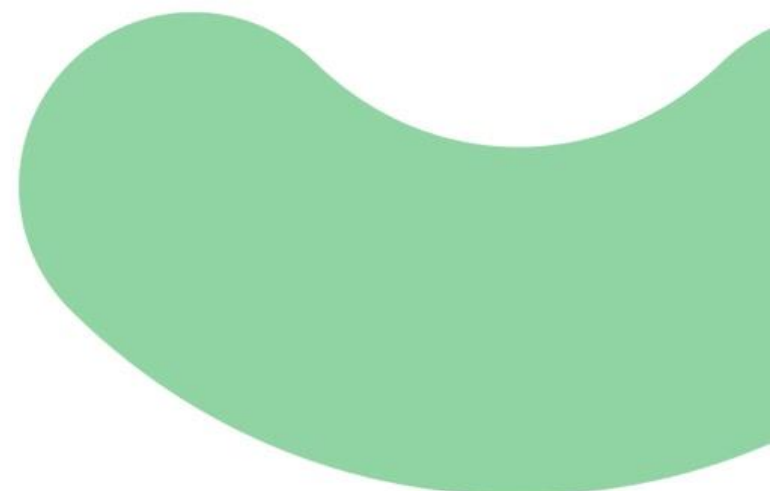




平成30年3月期
第2四半期 決算説明資料

ウェルビー株式会社

証券コード：6556



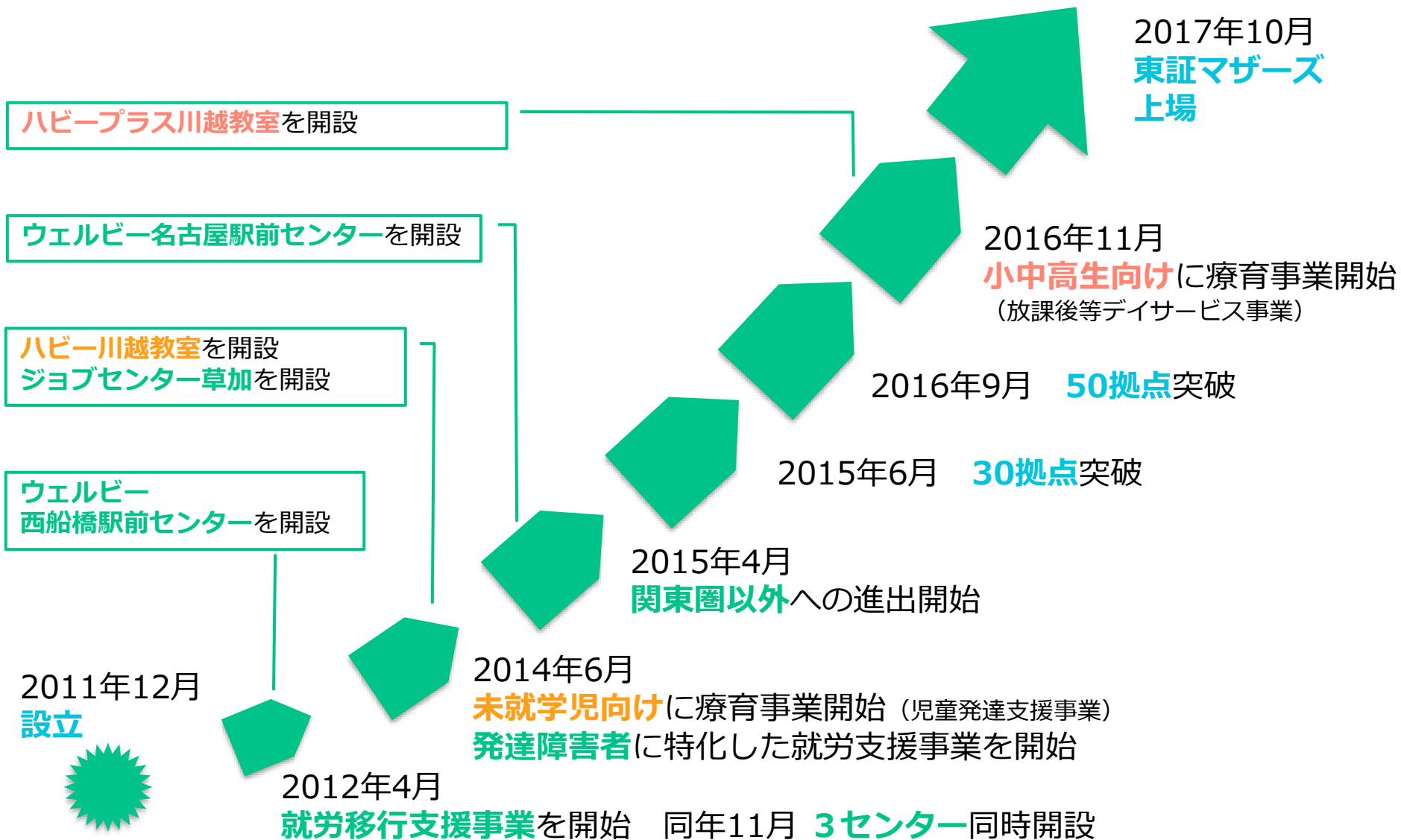
1. 事業概要・特長
2. 2018年3月期第2四半期決算概要
3. 2018年3月期業績予想の概要
4. 今後の成長戦略

経営理念

全従業員の自己実現と幸福を追求するとともに、
すべての人が「希望」を持てる社会の実現に向けて

| | |
|------------------|---|
| 商号 | ウェルビー株式会社 (Welbe, Inc.) |
| 本部所在地 | 東京都千代田区三崎町 2-4-1 TUG-Iビル 2階 |
| 代表者 | 代表取締役社長 大田 誠 |
| 設立年月日 | 2011年12月1日 |
| 資本金 | 328百万円 |
| 発行済株式総数 | 8,850,000株 |
| 決算期 | 3月末 |
| 事業内容 (：運営拠点数) | <p>障害福祉サービス事業</p> <p>①就労移行支援事業・・・就労移行支援事業所：52センター、特定相談支援事業所：2センター、 埼玉県委託発達障害者就労支援センター：2センター（※1）、 自立訓練（生活訓練）事業所：1センター（※2）の運営</p> <p>②療育事業・・・・・・・・・・児童発達支援事業所：12教室、放課後等デイサービス事業所：3教室の運営</p> <p style="text-align: right;">※1 以下「ジョブセンター」と称する ※2 以下「ウェルビーチャレンジ」と称する</p> |
| 従業員数 | 474名（臨時従業員数を除く） |

これまでの歩み



出所：当社HPより

未就学児から成人までの年齢層に対して、**隙間のない障害福祉サービスを提供**

就労移行支援事業（18歳以上65歳未満）

就労希望障害者への職業訓練、求職活動支援、職場定着支援

• ウェルビー

「障害者総合支援法」に基づくサービス
就労移行支援事業所の運営



• その他

特定相談支援事業所、ジョブセンター、
ウェルビーチャレンジの運営

療育事業（18歳以下）

障害児への成長・発達の支援・指導

• ハビー

「児童福祉法」に基づくサービス
児童発達支援事業所（未就学児向け）の運営



• ハビープラス

「児童福祉法」に基づくサービス
放課後等デイサービス事業所（小中高生向け）の運営

大人

就労移行支援事業所



小・中・高生

放課後等デイサービス事業所

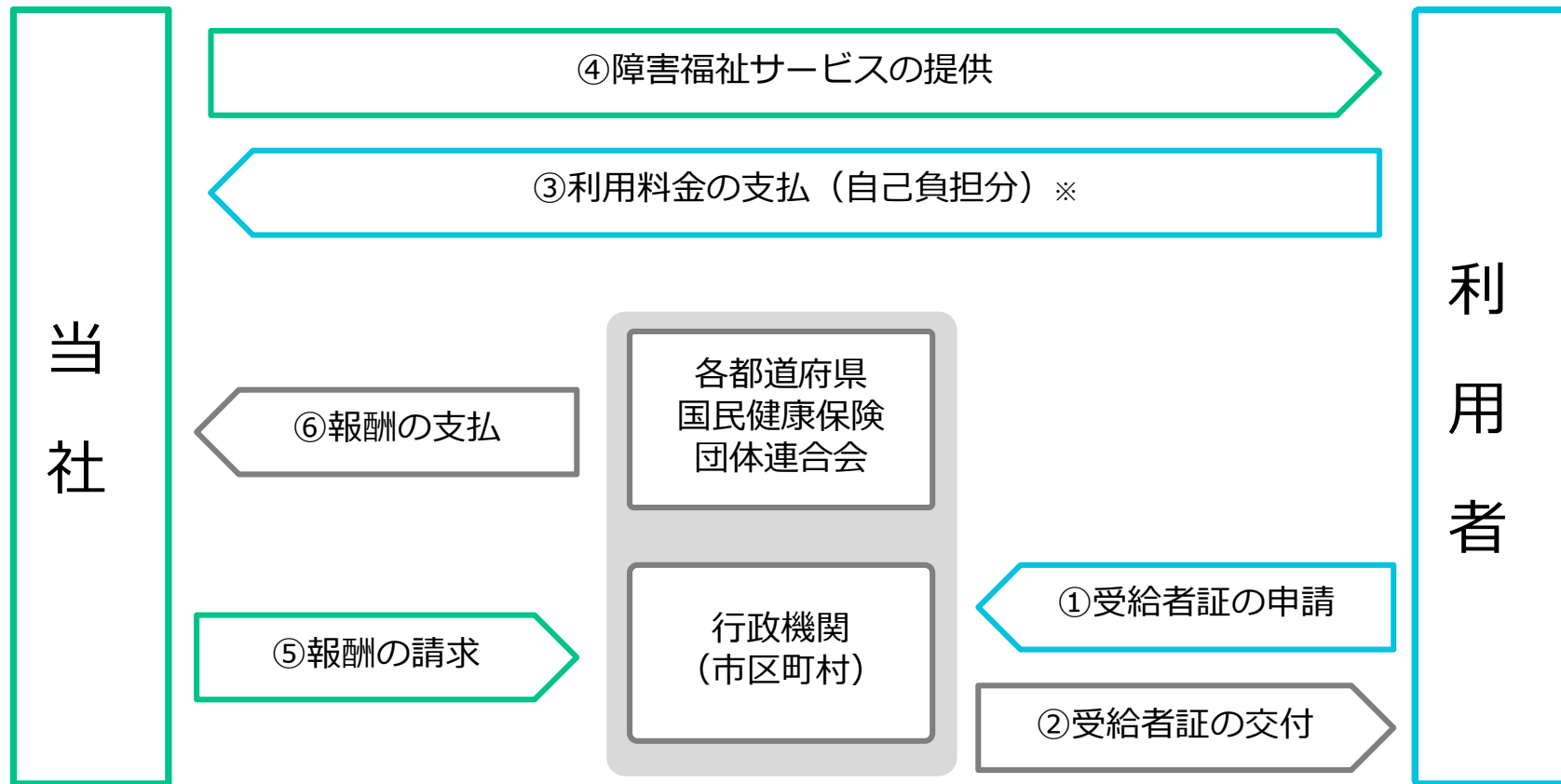


未就学児

児童発達支援事業所



主に、利用者から一部負担金を受領し、差額は国民健康保険団体連合会等の行政から報酬を受領するビジネスモデル



※ 障害福祉サービスの利用料金は、世帯所得に応じて月額負担上限が設定

首都圏を核に全国規模で事業所の開設が進行

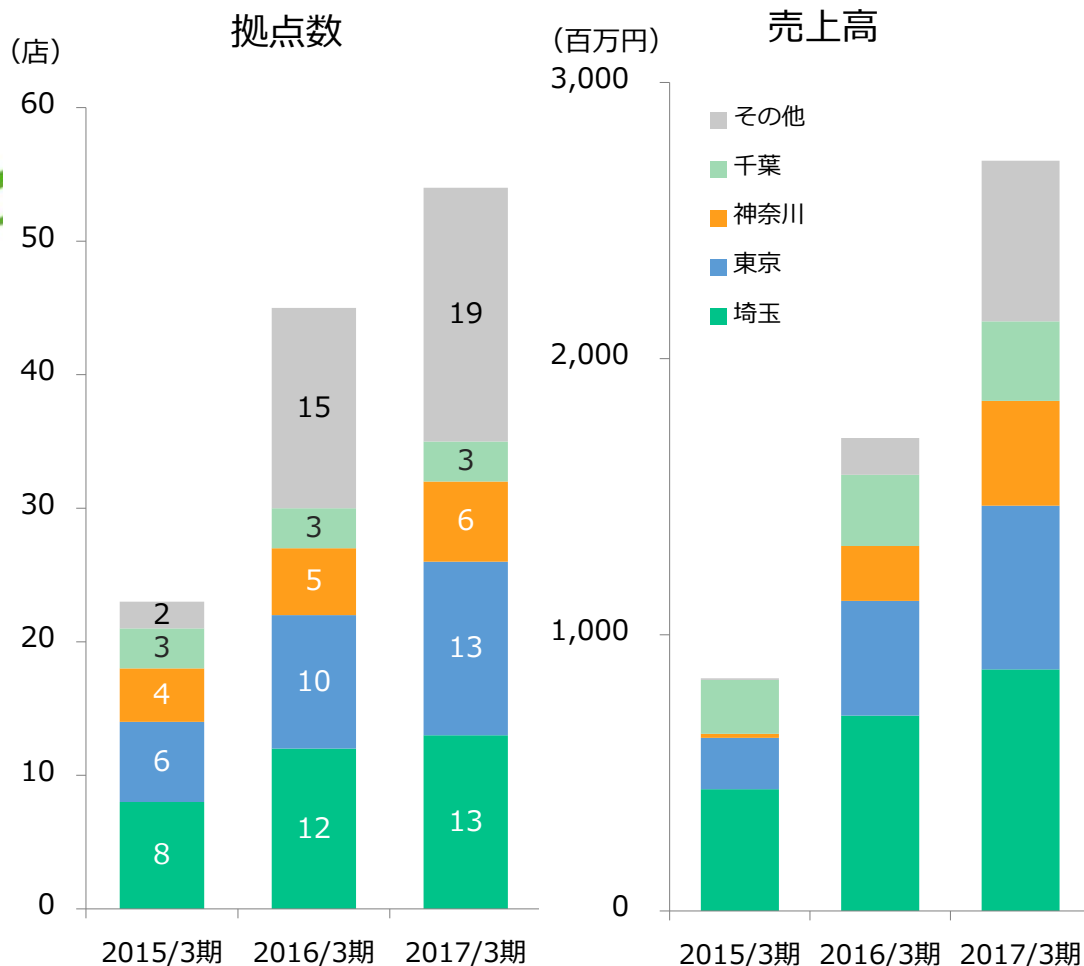
ウェルビー
全国の事業所数 **57** 拠点

(2017年9月末現在)



出所：当社HPより

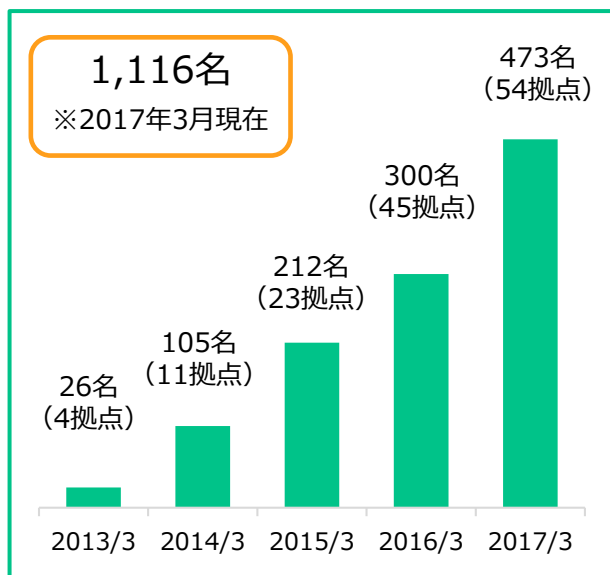
地域別の状況



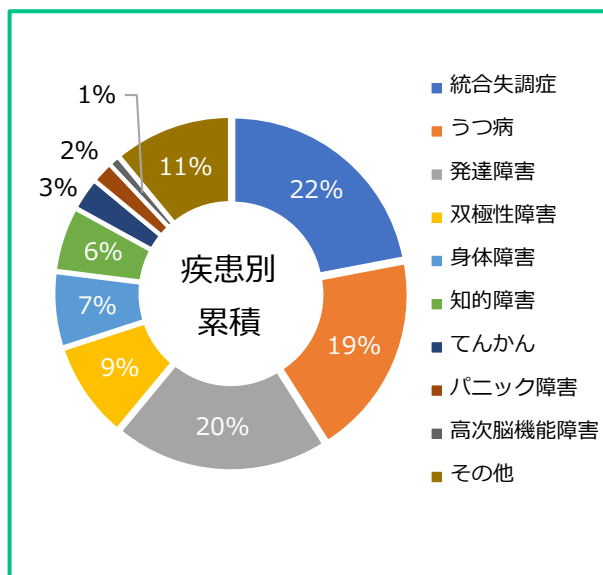
就労先担当者との定期的な連絡・相談を通じて、職場定着をサポート

(障害特性及び配慮の方法、職場での接し方や指示の出し方等、利用者の業務習得に向けたアドバイス)

年度別就職者数

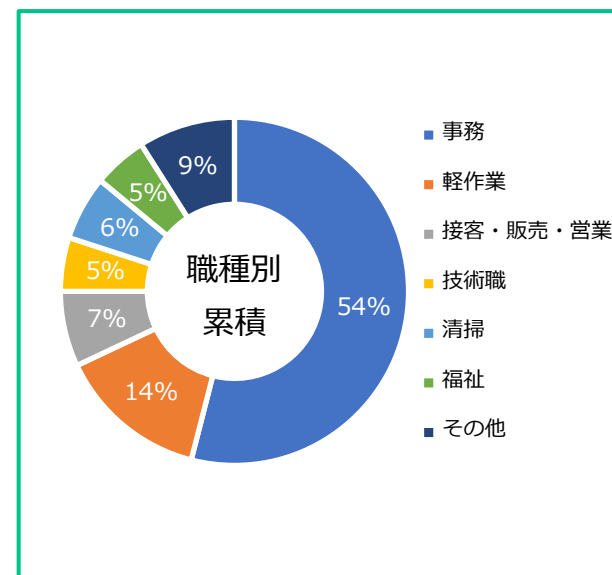


疾患別就職実績割合



※ 統合失調症～双極性障害までの精神疾患で70%

職種別就職先割合



※ 事務職が多く70%以上の方が未経験職種に就職

出所：当社HPより

2016年度就職定着率 **83%** ※6カ月定着率

首都圏から教室の新設を推進

ハビー

全国の教室数

12拠点

ハビープラス

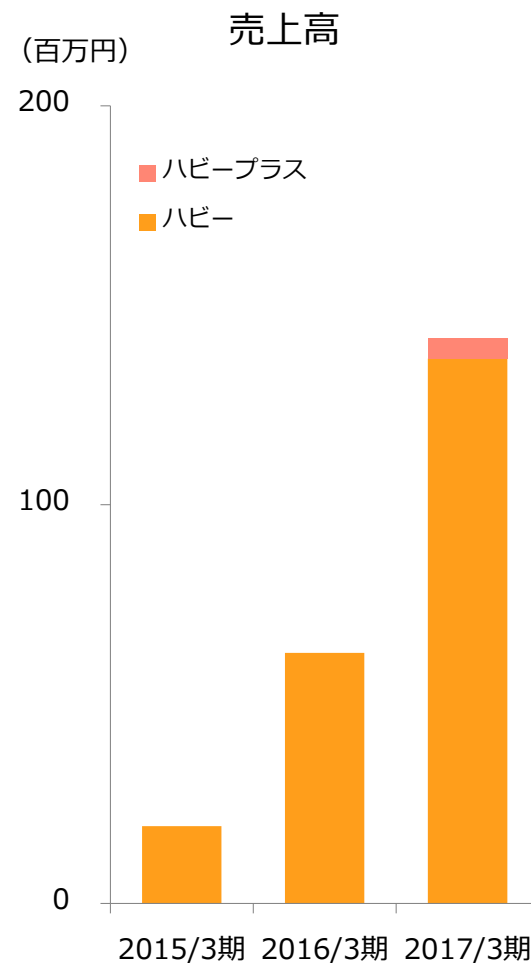
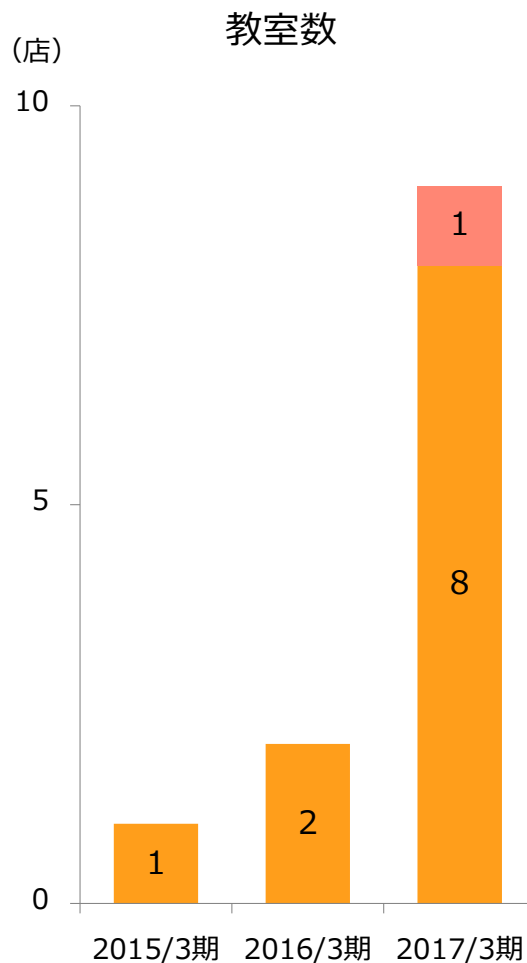
全国の教室数

3拠点

(2017年9月末現在)



出所：当社HPより



① 業務マニュアルの整備

業務マニュアルの整備・運用により、一定以上のサービス品質を確保

② 当社がメリットを享受できる報酬体系（2015年度の報酬改定）

就労後の**定着実績を重視**したサービス報酬体系へと改定。

基本報酬を引き下げ、**定着実績に応じた加算割合の増加**。

③ 開所時点でのサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の配置義務（指定要件）

2018年4月より1年間の猶予措置廃止。同責任者の**開所時点での配置が義務化**され、人材確保が一層困難に。

当社は、**社内から養成・輩出**が可能。

④ 地域連携・地域密着（行政・医療・利用者とのつながり）

事業所のある地域の公共団体・障害福祉機関、病院、教育機関等、**関連諸機関との連携**。

展開地域での**強固なネットワーク**を構築。

1. 事業概要・特長
2. 2018年3月期第2四半期決算概要
3. 2018年3月期業績予想の概要
4. 今後の成長戦略

決算概要

- 売上高20.7億円、営業利益5.3億円、経常利益5.2億円、四半期純利益3.3億円
 - ✓ 前年同四半期比で売上高56.8%増、営業利益88.7%増、経常利益89.8%増
 - ✓ 売上高営業利益率25.6%、売上高経常利益率25.5%
 - ✓ 第2四半期累計で売上高、各利益とも過去最高
 - ✓ 2018年1月に本部を移転予定のため、現本部の固定資産について減損損失4百万円（特別損失）が発生

出店状況

- 上期は、9拠点を開設し、運営拠点は全72拠点
 - ✓ **ウェルビー**は**2センター**（新横浜第2センター、松戸第2センター）を開設
 - ✓ 初の自立訓練（生活訓練）事業所である**ウェルビーチャレンジ**を小倉(北九州市)に開設
 - ✓ **ハビー**は**4教室**（松戸教室、藤沢教室、関内教室、浦安教室）を開設
 - ✓ **ハビープラス**は**2教室**（大宮教室、川口教室）を開設

その他

- 2017年9月末時点の従業員数は474名
- 2017年10月5日に東京証券取引所マザーズへ上場

※ 2017/3期2Q実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

第2四半期決算の概要

第2四半期累計で、売上高、各利益ともに過去最高を達成。各拠点の利用者数増加が要因。

第2四半期累計で、売上高20.7億円、営業利益5.3億円、経常利益5.2億円

業績予想に対して、売上高1.2億円増、営業利益0.9億円増、経常利益0.9億円増、四半期純利益0.4億円増

| 科 目 | 2017年3月期2Q | | 2018年3月期2Q | | | | 前年同四半期比 | | 2018年3月期2Q 予想比 | |
|---------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|--------------|-------|-------------------|-------|
| | 実績※ | | 当初予想 | | 実績 | | 増減額 (百万円) | 増減率 | 増減額 (百万円) | 増減率 |
| | 金額 (百万円) | 構成比 | 金額 (百万円) | 構成比 | 金額 (百万円) | 構成比 | | | | |
| 売 上 高 | 1,321 | 100.0% | 1,944 | 100.0% | 2,071 | 100.0% | 750 | 56.8% | 127 | 6.5% |
| 売上総利益 | 526 | 39.9% | 748 | 38.5% | 845 | 40.8% | 319 | 60.6% | 97 | 13.1% |
| 営 業 利 益 | 281 | 21.3% | 433 | 22.3% | 530 | 25.6% | 249 | 88.7% | 97 | 22.5% |
| 経 常 利 益 | 278 | 21.1% | 429 | 22.1% | 528 | 25.5% | 250 | 89.8% | 99 | 23.3% |
| 四半期純利益 | 173 | 13.1% | 288 | 14.8% | 333 | 16.1% | 159 | 92.2% | 44 | 15.6% |

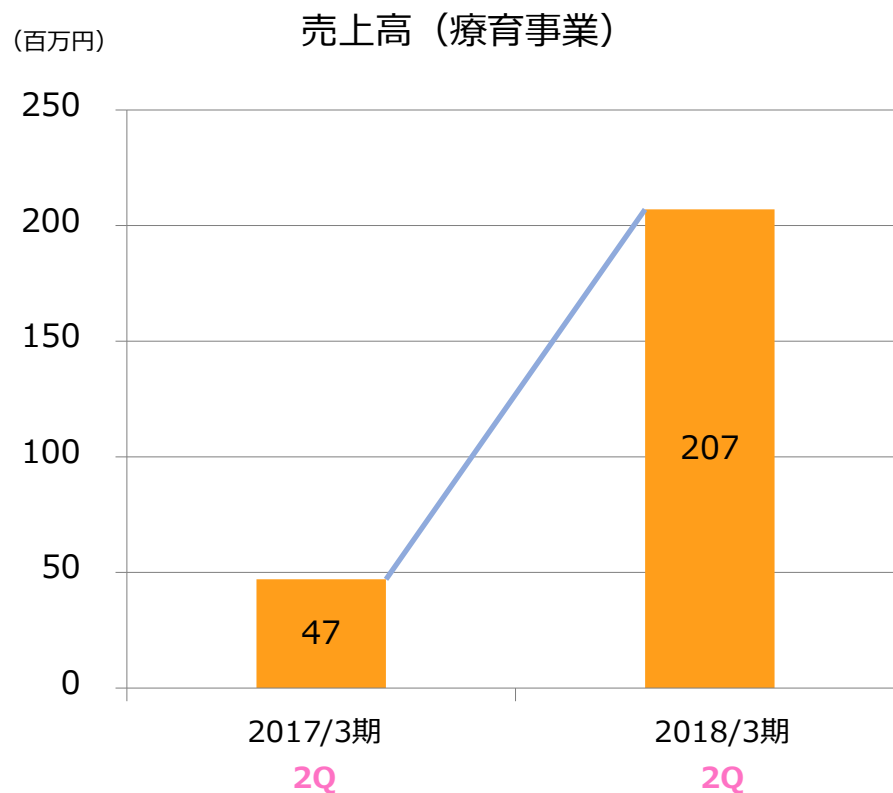
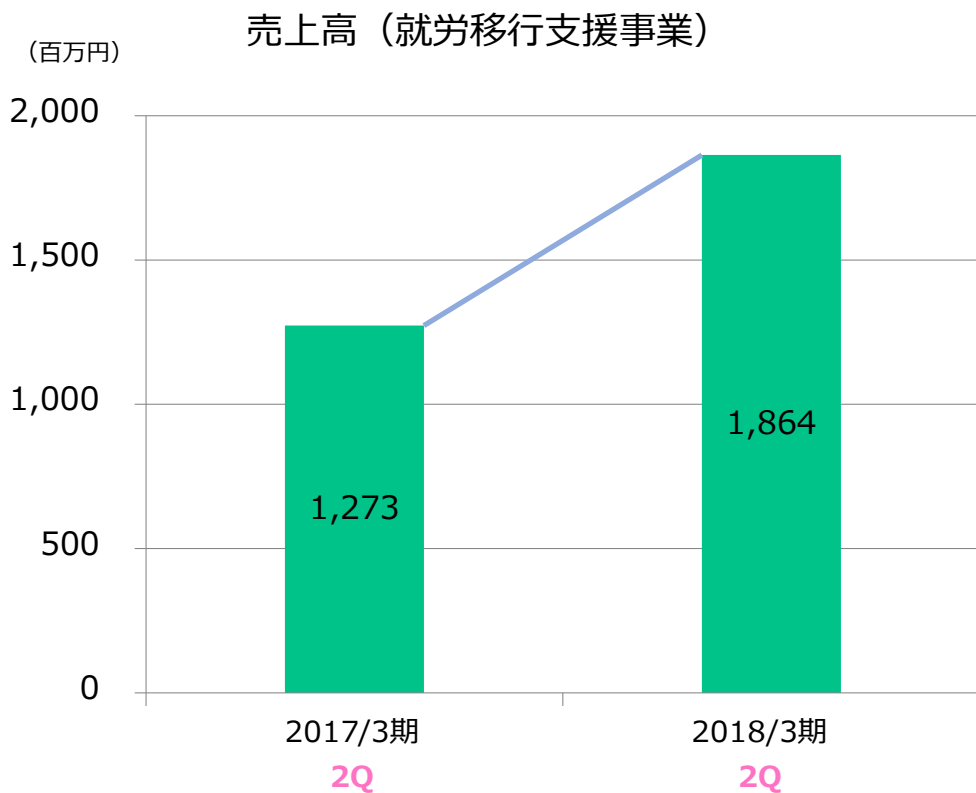
※ 2017/3期2Q実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

第2四半期決算 売上高推移

就労移行支援事業の売上高は前年同四半期比で46.4%増

療育事業の売上高は前年同四半期比で334.3%増

就労移行支援事業、療育事業ともに、利用者数が順調に推移したことによるもの

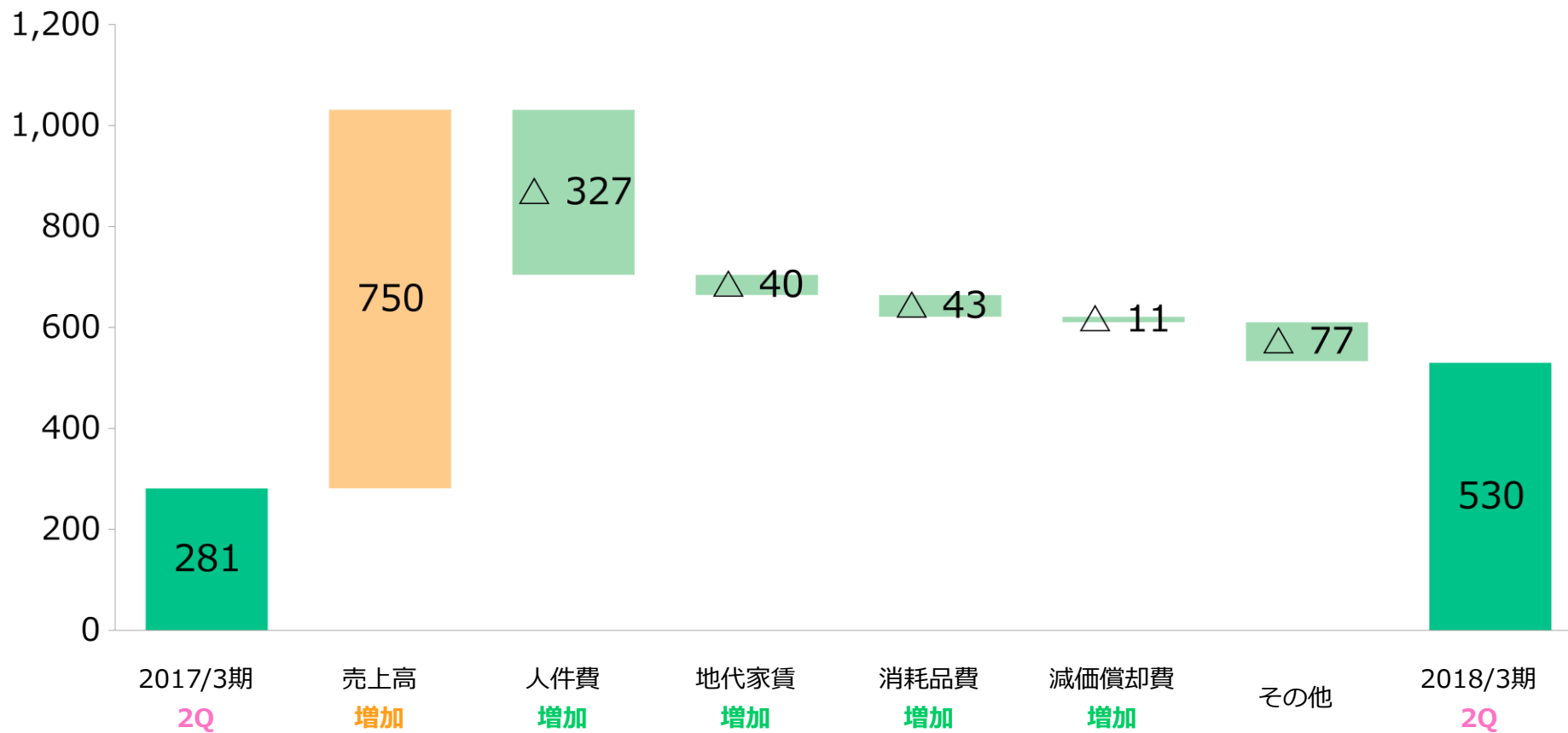


※ 2017/3期2Q実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

第2四半期決算 営業利益増減要因

拠点数の増加により人件費が前年同四半期比で327百万円増加

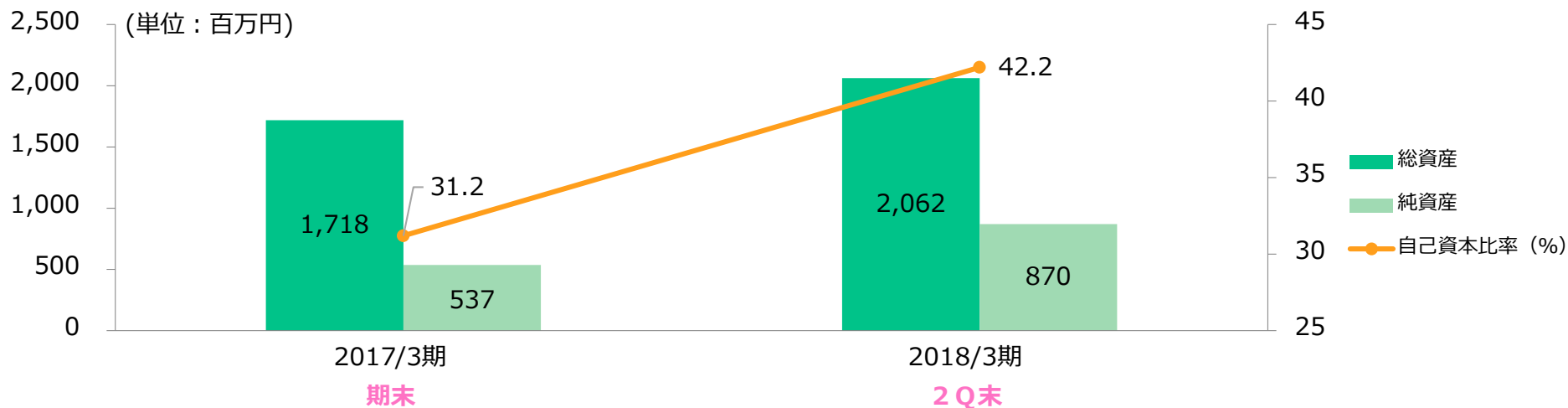
(単位：百万円)



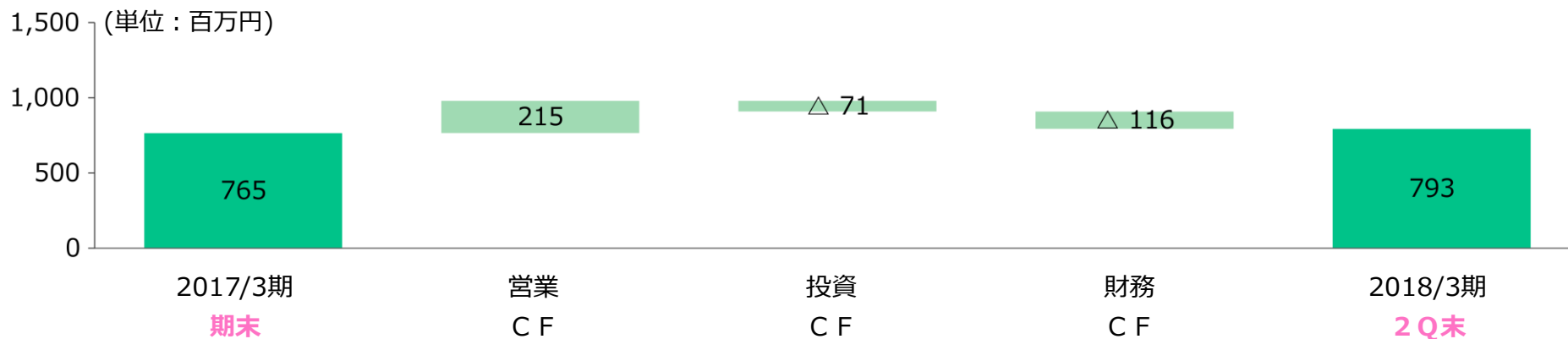
※ 2017/3期2Q実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

増益による内部留保の積み上げに伴い、自己資本比率は上昇

財政状態



キャッシュ・フロー



2017年6月
ウェルビー新横浜第2センター



2017年5月
ハビー松戸教室



2017年8月
ハビー浦安教室



2017年8月
ウェルビー松戸第2センター



2017年5月
ハビー藤沢教室



2017年4月
ハビープラス大宮教室



2017年5月
ウェルビーチャレンジ小倉センター



2017年7月
ハビー関内教室



2017年6月
ハビープラス川口教室



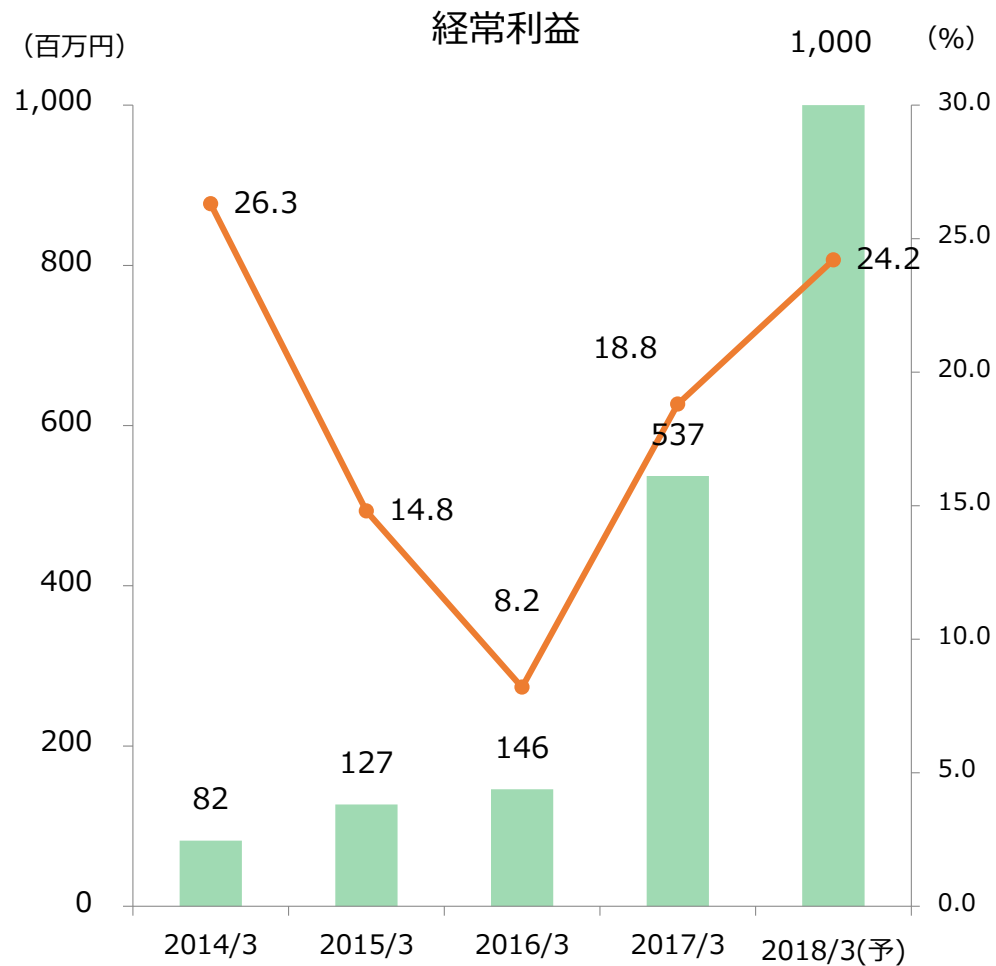
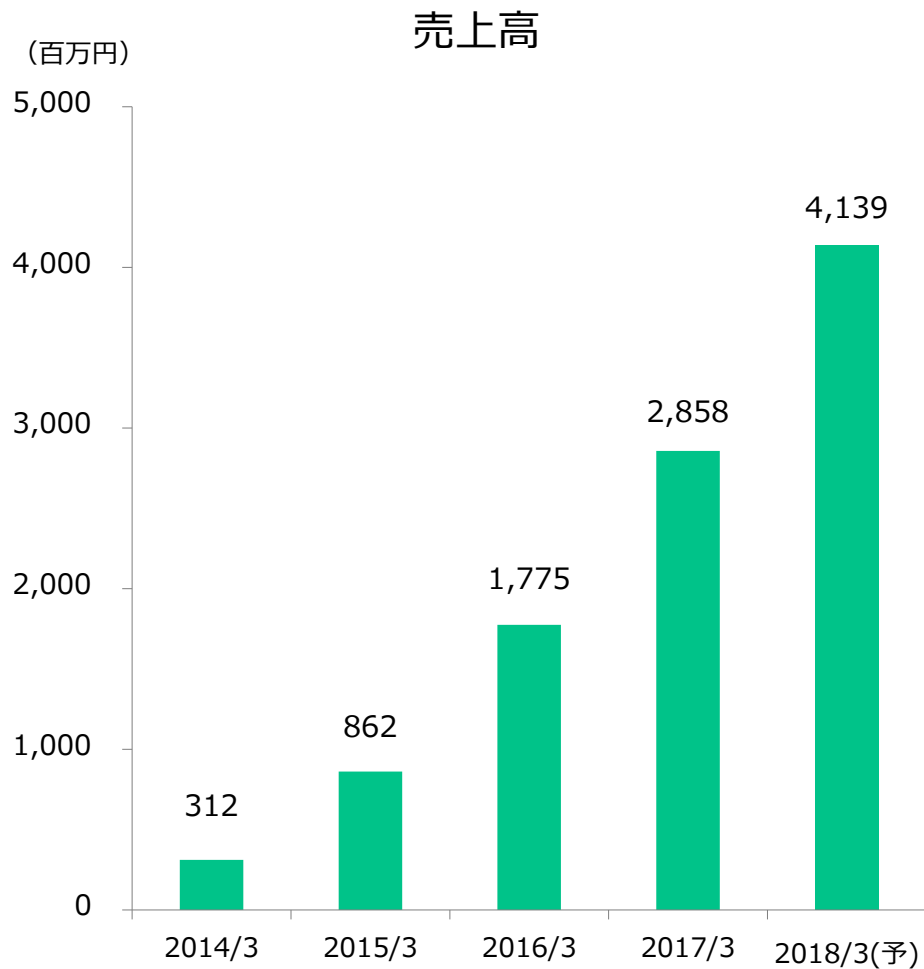
1. 事業概要・特長
2. 2018年3月期第2四半期決算概要
3. 2018年3月期業績予想の概要
4. 今後の成長戦略

業績予想

- 下期は、利用者数の順調な推移を想定する一方で、追加出店に伴うコスト増が見込まれるため、通期業績予想は据え置きとする
- 2018年3月期の業績予想は、売上高41.3億円、営業利益9.6億円、経常利益10億円、当期純利益6億円

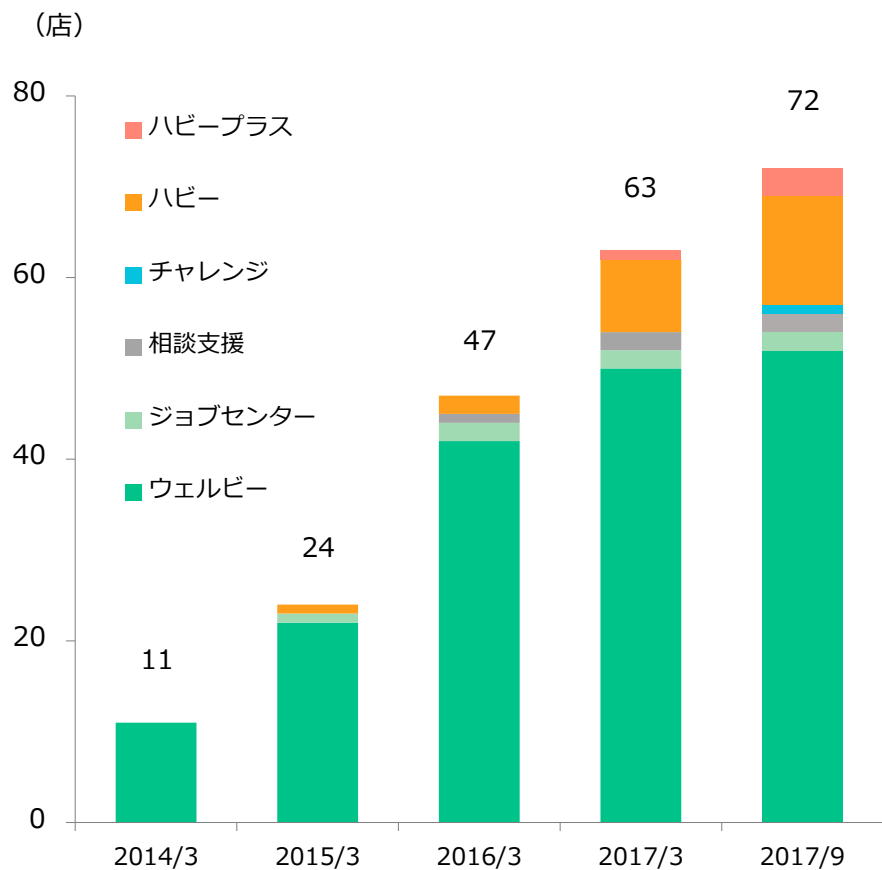
| 科目 | 2017年3月期 実績 | | 2018年3月期 通期予想 | | | | 2018年3月期2Q 実績 | |
|------------|----------------|--------|------------------|--------|--------------|-------|------------------|-------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 | 金額 (百万円) | 構成比 | 増減額 (百万円) | 増減率 | 金額 (百万円) | 進捗率 |
| 売上高 | 2,858 | 100.0% | 4,139 | 100.0% | 1,281 | 44.8% | 2,071 | 50.0% |
| 売上総利益 | 1,110 | 38.8% | 1,632 | 39.4% | 522 | 47.1% | 845 | 51.8% |
| 営業利益 | 542 | 19.0% | 969 | 23.4% | 427 | 78.9% | 530 | 54.7% |
| 経常利益 | 537 | 18.8% | 1,000 | 24.2% | 463 | 86.2% | 528 | 52.9% |
| 四半期(当期)純利益 | 342 | 12.0% | 609 | 14.7% | 267 | 78.0% | 333 | 54.6% |

- 売上高41.3億円（前期比44.8%増）、経常利益10億円（前期比86.2%増）、経常利益率24.2%
- 売上高は増収基調、経常利益は増益基調。



下期は、**ウェルビー3センター**、**ハビー4教室**、**ハビープラス2教室**を開設予定
ハビーは、関東以外では初の近畿地方（大阪・兵庫）に進出

拠点数



ウェルビー



2017年11月 千葉駅前第2センター
 2017年11月 千種センター
 2017年12月 博多センター **追加出店**

ハビー



2017年10月 志木教室
 2017年10月 京橋教室
 2017年11月 心斎橋教室 **追加出店**
 2017年11月 神戸三宮教室

ハビープラス



下期は**2教室**の開設を検討中

長期に亘る安定的な経営基盤の確保を目指し、
業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施。

健全な財務体質の維持、
将来の事業拡大のための
内部留保の充実

各期の経営成績、財政状態を勘案

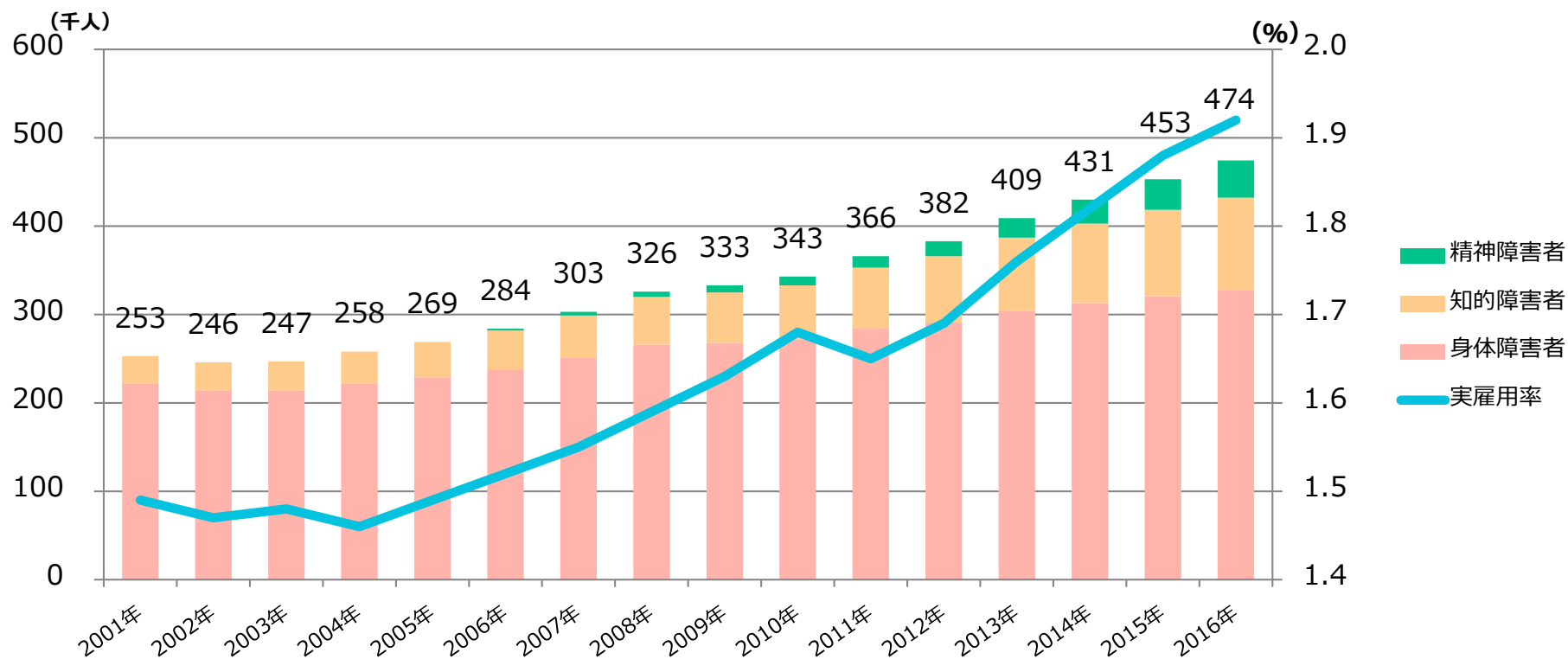
目標配当性向：20%

2018年3月期 予想1株当たり配当金：14円（配当性向：20.03%）

1. 事業概要・特長
2. 2018年3月期第2四半期決算概要
3. 2018年3月期業績予想の概要
4. 今後の成長戦略

- 雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新、雇用障害者数は13年連続で過去最高（2016年6月1日時点）
- 2018年4月より法定雇用率引き上げ、2020年度更に引き上げの方向
- 「働き方改革実行計画の決定は、日本の働き方を変える改革にとって、歴史的な一歩」

実行計画指標：就労移行支援事業所等の利用を経て一般就労へ移行する者を2020年度までに
2016年度実績の**1.5倍以上**（第10回働き方改革実現会議（平成29年3月28日）における総理発言等より抜粋）



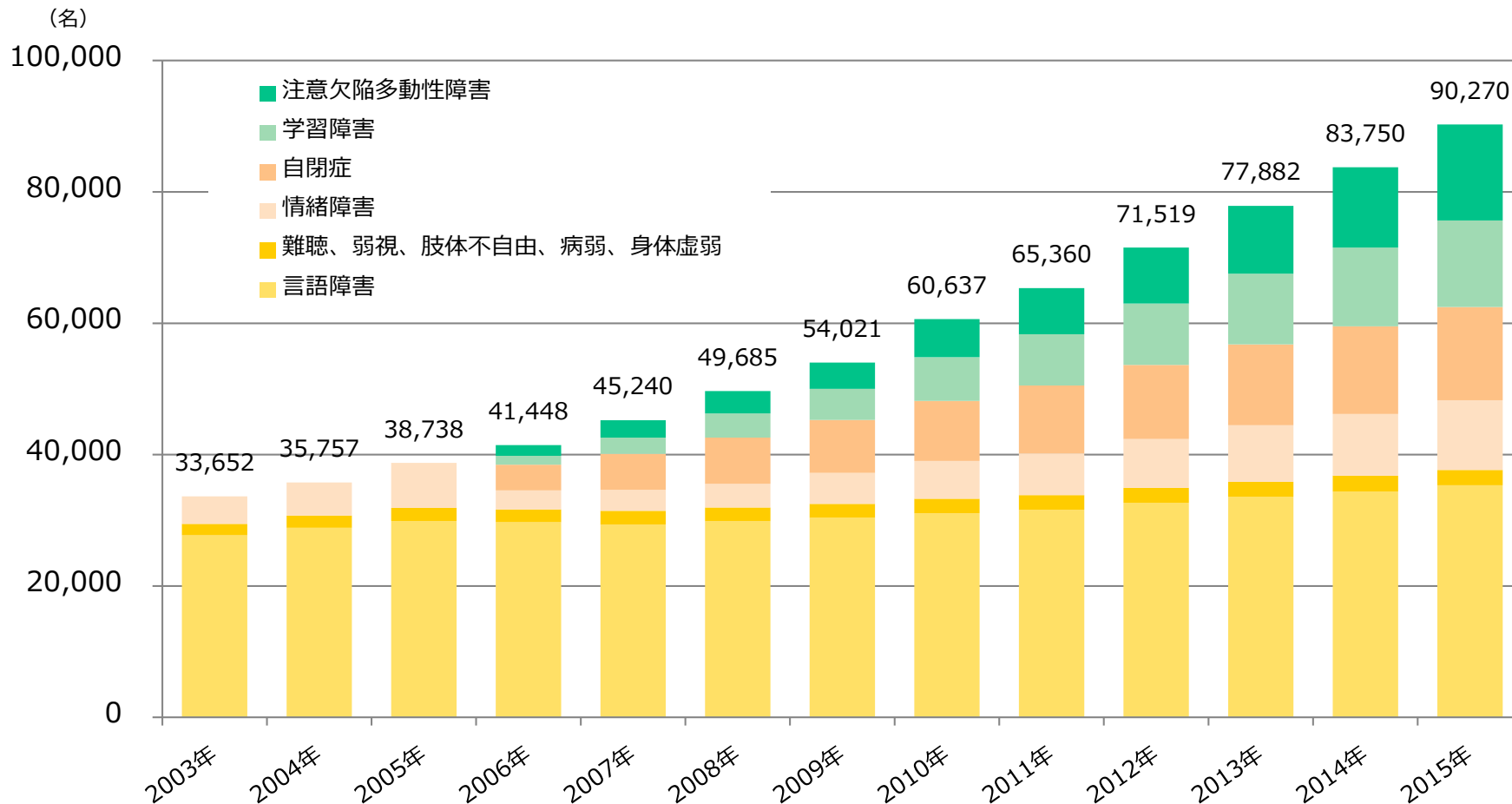
出所：厚生労働省 「障害者の就労支援について 平成27年7月」、平成29年5月30日障害者雇用率に関する報道発表資料等により当社作成

発達障害児の人数推移

■ 通常学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒数の割合 6.5% (2012年12月 文部科学省調べ)

■ 通級 (※) による指導を受けている児童生徒数は年々増加

※通級：障害に応じた個別指導



出所：文部科学省：平成27年度通級による指導実施状況調査結果について

障害をお持ちの子供から大人までの全世代に対して、
地域に密着した療育・就労移行支援サービスを拡大

① 持続的な出店拡大（首都圏・人口が多い地方都市）

- ・ 資格保有者増加に向けた人材戦略により持続的な出店が可能
- ・ 持続的な出店に伴う利用者数の増加により売上高拡大

② 定着支援サービス強化による加算報酬の獲得（就労移行支援事業）

- ・ カリキュラム・業務マニュアルの継続的改善により既存事業所の競争力が向上
- ・ 既存事業所の定着実績向上により売上高増加及び利益率向上

③ 外部要因による後押し

- ・ 障害者の法定雇用率の引き上げ

ハビープラス売上

ハビー売上

ウェルビー売上

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

ウェルビー株式会社 IR担当

TEL : 03-6268-9542
FAX : 03-6268-9543
e-mail : ir@welbe.co.jp
URL : <http://www.welbe.co.jp/>

